

グローバル教育への取り組み

香川大学農学部

Introduction of Global Education Programs
Faculty of Agriculture, Kagawa University



国際交流協定(実施細則)締結校

International Exchange Agreements

International exchange with academic institutions is important in attaining and strengthening academic excellence. The Faculty of Agriculture has a long history of academic cooperation and has academic-exchange agreements with the following institutions:

1. University of Dhaka	Bangladesh
2. Sher-e-Bangla Agricultural University	Bangladesh
3. State University of Londrina	Brazil
4. University of Battambang	Cambodia
5. Royal University of Agriculture	Cambodia
6. Nanjing Agricultural University	China
7. Tianjin Agricultural University	China
8. Zhejiang Gongshang University	China
9. Jilin Agriculture Science and Technology College	China
10. University of BurgundyAgrosup Dijon	France
11. Hochschule Geisenheim University	Germany
12. IPB University	Indonesia
13. Gadjah Mada University	Indonesia
14. Diponegoro University	Indonesia
15. Università di Torino	Italy
16. Nanyang PolytechnicSchool of Chemical & Life Sciences	Singapore
17. University of Ruhuna	Sri Lanka
18. National Chiayi University	Taiwan
19. Kasetsart University	Thailand
20. Chiang Mai University	Thailand
21. Maejo University	Thailand
22. Chulalongkorn University	Thailand
23. Assumption University of Thailand	Thailand
24. Silpakorn University of Thailand	Thailand
25. Middle East Technical University	Turkey
26. University of Nottingham	United Kingdom
27. Michigan State	United States
28. University of California, Davis	United States
29. Hanoi University of Science and Technology	Viet Nam
30. Ho Chi Minh City University of Technology	Viet Nam

留学生受入れ状況

Status of International Students accepted

On 1st April, 2023, Faculty of Agriculture and Graduate School of Agriculture accept 27 International students. 29.6% of students belong to Master course and 22.2% to Ph. D course at United Graduate School. 33.3% of students are supported by the scholarship by Japanese Government.

Tailand	6	Ghana	1	Bachelor course	11	
Indonesia	2	Myanmar	2	Master course	8	29.6%
Bangladesh	2	Taiwan	1	Ph. D course	6	22.2%
China	4	Papua New		Exchange student	2	
Vietnam	1	Guinea	1	Total	27	
South Korea	3	Malaysia	4		(1 st April, 2023)	

「アジア・アフリカ環太平洋特別コース」 Special Course from Asia, Africa and the Pacific Rim (Master course/ABE Initiative, United Graduate School Doctor course)

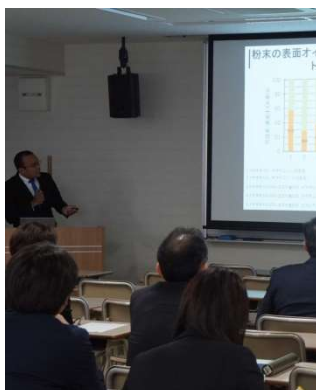
本プログラムは、アジア・アフリカ環太平洋地域からの留学生を受け入れ、すべての授業や研究指導を英語により行う大学院プログラムです。私費外国人留学生の受入れの他、アフリカ人材養成プログラム(ABEイニシアティブ/JICA長期研修員)や農林水産分野における開発途上国の人材育成プログラム(JICA Agri-net)の一環として、アフリカ各国をはじめとした開発途上国から留学生を受け入れています。



「日本の食の安全特別コース」

Career Development Special Program for Food Safety in Japan (Master course)

平成21年度、経済産業省と文部科学省の共同事業として始まった「アジア人財資金構想」高度専門留学生育成事業からスタートし、平成24年度からはプログラムの自立化に成功し、グローバル化する日本の食品産業を支える食の安全・健康推進教育の日本で唯一の産学連携プログラムとして、コンソーシアム企業や四国経済産業局の支援を受けながらプログラムの管理・運営を行っております。日本の食の安全人材育成プログラムは、香川大学において「日本の食の安全」の観点から食品企業とコンソーシアムを形成し、作物の育成・収穫から加工・流通・販売に至るまで総合的に食の安全に必要な能力を身につけた人材の育成、高い日本語能力を有し、かつ日本文化を正しく理解した国際人、そして経営感覚を身につけ、将来企業幹部となりうるグローバル人材の育成をしています。



日本・インドネシア6大学イニシアティブプログラム Six University Initiative Japan Indonesia (SUIJI) Program

International Service Learning Program

国内サービスマーケティング プログラム 香川大学は、日本とインドネシアの6大学(愛媛大学、香川大学、高知大学、ガジャマダ大学、ボゴール農業大学、ハサヌディン大学)間でSUIJI (Six-University Initiative Japan Indonesia)コンソーシアムを形成し、学部から大学院にわたる多層的な共同教育プログラムを展開しています。2022年は、8月16日から25日までの10日間、国内サービスマーケティング・プログラムを実施しました。5日間の小豆島中山地区での現地活動と高松でのディスカッションを通じて、香川大学学生4名、インドネシア学生6名(IPB、UGM、UNHASから各2名)及び香川大学SUIJI経験サポート学生3名が良い連携をとりあって活動ができました。小豆島での活動では、棚田を中心に徒歩での調査(ジャランジャラン)や中山地区住民との懇談を通じて、中山地区での問題点を掘り下げました。観光客のための散策マップというよりは、中山地区住民にとっての生活の場としての棚田の保全に役立つ棚田マップの作製を行いました。地域にまみれ、コミュニケーション能力を高め、問題解決のための提案をするというSUIJIの目的である活動が十分になされました。最終日の25日には活動総括であるプレゼンテーションを英語で実施することができました。オンラインも組み入れつつ、リアルな体験を追求した10日間でした。いろいろな制限がかかる中、工夫して、交流・活動をくみたててSUIJI参加者が楽しむことが出来、受け入れて下さった地域の方々やサポートをしていただいた関係者に感謝です。また、9月10日には6大学合同のオンライン発表会・討論会を53人の参加で実施し、大いに盛り上がる事が出来ました。



日本・インドネシア6大学イニシアティブプログラム Six University Initiative Japan Indonesia (SUIJI) Program

International Service Learning Program

海外サービスマーニング プログラム 香川大学は、日本とインドネシアの6大学(愛媛大学、香川大学、高知大学、ガジヤマダ大学、ボゴール農業大学、ハサヌディン大学)間でSUIJI (Six-University Initiative Japan Indonesia)コンソーシアムを形成し、学部から大学院にわたる多層的な共同教育プログラムを展開しています。2023年は、2月25日から3月10日までの15日間、海外サービスマーニング・プログラムを実施しました。香川大学、愛媛大学、高知大学3大学合計27名(香川大学は5名)が参加し、2023年2月25日に日本を出発し、翌朝インドネシアジャカルタに到着しました。ここからさらに3つのサイト(チブラオ、イモギリ、トラジャ)に分かれて活動を開始しました。いずれのサイトも7~8日の現地での活動でしたが、参加者の皆さんは雨の中を元気に茶農園、コーヒー農園、青果物農園そして観光サイトを元気に駆け巡り、インドネシア学生と寝食を共にしました。そして、地域住民の方々と交流して現地サイトでの問題点や課題(生活向上、小中学校教育、健康管理など)を語り合っ活動しました。3月10日に日本帰国のためにジャカルタ空港に集まった時には、少し日焼けしたこともあつて皆さん精悍な顔つきになっていました。地域にまみれ、コミュニケーション能力を高め、問題解決のための提案をするというSUIJIの目的である活動が十分になされた気がします。活動日数が短く、現地サイトでの活動により多くの時間を割いたために、インドネシアでの3サイト合同の発表会は出来ませんでしたが、日本に帰国後にオンラインで6大学合同の発表会をしました。



日本・アジア青少年サイエンス交流事業(さくらサイエンスプラン) Exchange Program of Science for youth (Short Stay for Young International Scientists)

独立行政法人科学技術振興機構(JST)

さくらサイエンスプログラムは、産学官の緊密な連携により、諸外国・地域の青少年を我が国に招へいし、我が国の青少年との科学技術分野の交流を行う事業です。

2022年10月23日から29日の7日間、タイ、ベトナム、スペイン、インドネシア、台湾の5カ国・地域の8大学から11名の若手研究者(内訳:学部学生4名、大学院生4名、研究員2名、引率教員1名)が、香川大学農学部でさくらサイエンスプログラムの科学技術体験コースに参加しました。テーマは「SDGs達成に向けた先進農学研究体験プログラム」です。本コースでは、(1)SDGsの目標達成に関わる農学系の研究教育施設や民間企業の工場施設の見学、(2)香川大学農学部の研究室での実験実習体験および研究室メンバーとのディスカッションを行いました。



食の安全・機能解析教育に関する東南アジア等の大学間体験学習型派遣プログラム International Exchange and Educational Program for Food Safety (Short Visit for Undergraduate and Graduate Japanese Students)

日本学生支援機構(JASSO)の海外留学支援制度

2022年8月25日から9月28日までの35日間ベトナムのハノイ工科大学(HUST) 生物工学・食品工学部で国際インターンシップを実施しました。JASSOや農学部後援会などからの支援を受け、農学部2・3・4年生と修士1年生の合計12名が参加しました。

現地では、学生が6つの研究室に分かれて、それぞれビール、日本酒、発酵茶、ジュース、豆腐、パンの製造や難分解性の化合物を分解できる微生物の単離にチャレンジしました。そのほかに、農学関連の授業(使用言語:英語)をHUSTの学生と一緒に受講しました。

また、ベトナムでの食品などの加工などの実際を知るために、ビール工場、米麺(Pho)加工場、糖蜜の製造プラント、動物飼料の製造工場、お菓子工場、お米やキャッサバの栽培現場の見学を行いました。

さらに、学生間交流として、HUSTの学生と一緒に、讃岐うどんやベトナム春巻きをつくったり、ソーラン節の踊りを披露したりして交流を行いました。週末には、HUSTの教員や学生の案内で、歴史的建造物を見学したり、陶芸教室に参加し、ベトナムの歴史や文化についても学びました。最終日には、ベトナムの小学校を訪問して、現地の小学生と交流も行いました。

今回の国際インターンシップを通して、参加した学生の英語コミュニケーション力は格段に向上しました。



香川大学帰国留学生ネットワーク Alumni Net Work of International Students

香川大学では、帰国留学生と本学と帰国留学生間の交流促進を目的として、香川大学帰国留学生ネットワーク(香川大学留学生同窓会を概ね2年に1回程度実施しています。)

帰国留学生ネットワーク タイ支部

バンコク市にて開催された、帰国留学生ネットワーク第1回、第2回総会に続き、平成29年3月14日に、チェンマイ市にて第3回総会が開催されました。

週日の開催に関わらず20名近い帰国留学生が参加して、懐かしい香川大学での思い出話や近況報告で盛り上がり、本当に楽しい一時を過ごしました。香川大学で学んだ元留学生が大学や企業などで大いに活躍している姿に、香川の地で一緒に学んだ我々にとって嬉しく、誇らしく深く感動しました。

これまでのタイからの香川大学農学部への留学生は、学位取得者・長期滞在を合わせると130名を越えています。今や、タイからの留学生は第三世代となり、まさに世代を越えた交流が続いています。



帰国留学生ネットワーク 中国支部

2018年7月27日(金)、香川大学帰国留学生ネットワーク中国支部第5回総会が、広州市コンラッドホテルにおいて合計30名の出席で開催されました。徳田副学長・インターナショナルオフィス長と一井元学長(名誉教授)から祝辞があり、佐藤経済学部長、今井田医学部教授、姚経済学部教授、ロン副オフィス長、田島名誉教授、早川名誉教授などから香川大学や各学部の状況と各教員の近況と感想を兼ねたあいさつがありました。その後、中国帰国留学生18名から近況と留学当時の懐かしい思い出話が出され、楽しく歓談できました。今回は経済学部出身者の出席が多くみられ、全学的に交流が進んでいることがうかがわれました。さらに広い分野での交流がこれからも期待されます。総会後は懇親会を行い、親しく旧交を温めることができました。翌日はエクスカーショで千年古道や南越王宮博物館などを見学し、同窓生とともに中国の歴史を強く感じさせるひと時を過ごしました。徳田副学長の総会冒頭でのあいさつ「楽しい会にしましょう」のとおり、和気あいあいとした雰囲気の中で楽しく同窓会を持つことができました。

